



彼の隣で先生と

拓也くんが好き...なのに...





…であるとして…
…となる…

…では、「こ」を…
秋山春香…解けるか？

…はい…

…ん？

どうした…？秋山
体調でも悪いのか…？

えっと…

…いえ…

秋山…大きな声で話さないと
先生に聞こえないぞ…
…まったく…

…すみません…

高校生活もあと半年…それなのに…
春山橋高校に入学してから
今まで、先生やクラスメイト
その誰ともなじめずにいる…



性格がもともと人見知りである上に
家からも遠い高校に通っていることで
友達を一人もつくれず…
クラスで浮いてしまっていた…

そんな私が…この高校に通う
唯一の理由は…

あつ！先生！
オレこの問題、解けたよ！

答えはBでしょ！

コラ！拓也！

今は秋山が問題を
解いているんだぞ…！
しかも正解はAだ！

あれ？



幼馴染の拓也くんがこの高校にいるからだ
彼は唯一の知り合いで
困っている私をいつも助けてくれる

ははは！
また拓也がバカやってるぜ

何やってんだよ拓也〜！

やっぱり拓也はおもしろいな〜！

この高校に入学したのも
拓也くんがこの高校に通うという
噂を聞きつけたからだ

私の憂鬱な学校生活の楽しみは
拓也くんの姿を眺めること…
彼を見ていると胸のドキドキが
止まらなかつた

は…やれやれ…

秋山！座っていいぞ！
体調が優れないなら
保健室に行きなさい！

あ…はい…
だいじょうぶです…

あと拓也！

お前は課題を追加だ！
覚悟しとけよ！

え…先生！
そりやないっすよ！





た、拓也くん…っ！…
ごめんね…私のせいで…っ

…んっ…ああ！

気にすんなって！
いつものことだろ！

…っ…ありがとう…



本当は、この好きという気持ちを
ずっと伝えたいと思っていたが
フラれてしまったら…
と思うと勇気が出なかった



あ…拓也君…いた…

キーン
コーン
カーン
コーン…



放課後…誰もいない教室…
私は一人で窓から見える
部活で野球をしている拓也くんを
眺めるのが日課になっていた

……

カキーン
フー
フー

おっ！拓也〜！
ボールそっち行ったぞ〜！

まかせろ〜！



.....

最初は遠くから眺めているだけで
十分だったのだが...



日に日に、好きという感情が
大きくなるにつれ
もどかしさと切なさを
紛らわせるために...
我慢が出来なくなっていた



拓也君…っ！

んっ……！

あっ…んっ…

んっ……！

誰もいないとはいえ
教室で声を漏らしながら
拓也くんで自分を慰める…
罪悪感があるが、それがまた
恥部をまさぐる力を強くさせた

…いつも通り拓也くんに
夢中になりながら絶頂するまで
恥部を弄る…

す…き…っ!!

拓也くん…っ!!

んっ…イク…っ…!!

そのあと片付けをして
満足するまで拓也くんを
眺めてから帰る……





たくやくん……っ……!!

イク……ん……っ……!!

……そのはずだった……

ズ
ジ

フ
ク

ホ
ク

ホ
ク



おい…秋山春香…

お前何してるんだ…?

…あ…!!

高橋…先生…!!

いやっ…これは…っ

トロキ…ポッ



高橋先生：体育の先生で
よく女子生徒に対して
厳しい指導をしているところを
見かける…正直、苦手な先生…



最悪だ…
よりもよつて
高橋先生に見つかるなんて…

机に土足で…こんなに汚して
どういふことが説明しろ!

あ…の…これは…

ち…ちがう…んです…っ

す…すみま…せ…



なにが違うんだ秋山...?
お前...今日だけじゃないよな?

.....え...?

いや...あの.....

なんで知って...?!

ほら、証拠もあるぞ

.....へっ.....?



なっ...これっ...!!

ドキッ

ドキッ

ドキッ




これはどういうことか
説明しなさいと言っているんだ

先...生...?
これ...ぎ...つ...て...っ...


まあ...座れ...

ゆっくり話そうじゃないか



どうやら先生は見回りの際に
私が何度も教室でオナニーしていることに
気が付いていたらしい

そして私が拓也くんにも
夢中になつてゐる姿を何度も
写真に収めていたようだ



秋山：教室でオナニーなんて
ダメだぞ…分かってるのか？

…う…すみませ…ん…

先生はこれ以上
見過ごすことはできんぞ…

オナニーしている写真を見せられた私は
何も言い訳することが出来なかった
先生は私に30分ほど説教したあと…



そのまま私の服を脱がし始めた

オヤ!?

え...!!

先...生...?

~~~~~



あの…先生…？

…んっ…なに…して…？

…やめ…っ…て…

もともと気の弱い私は  
力強い手で私の胸を揉みしだく  
高橋先生に抗うことが出来なかった



いつもこの教室でオナニーして...  
俺に見せつけてたんだろ...?

ちっ...ちがっ...

んっ...

やめて...だと?  
俺が校内で見回りするたびに  
誘惑してきたくせに...!

モ  
モ  
モ



そもそも…ほとんど毎日  
教室でオナニーしてるなんて  
ほんとうに淫乱な生徒だな…!

…い…やっ…

それに何だこの胸は！  
だらしがないぞ…!!  
分かっているのか…秋山！

…すみませ…ん…っ

ほっ

ほっ

モミ

モミ  
モミ

ほっ

ほっ



さっきから体を震わせて…  
悦んでいるように見えるが…  
本当に反省しているのか…？

…っ…反…省…っ

…して…ますっ…  
だから…これ以上は…っ

…なんだって？  
はつきり言わないと聞こえないぞ

秋山…お前は  
いつも声が小さいな…



ギョウッ  
ギョウッ

アッアッ!!

ギョウッ

ギョウッ

しかたない...





…っ！…もう一度聞くが…  
秋山なんだこれは…？

…め…ん…ぢや…っ

これは…っ  
…先…生が…っ！

スル…  
ムワ？

あ…！？



この期に及んで言い訳するな！  
学校の机をこんなに濡らして…！  
ビシヤビシヤじゃないか…！

…え？…な…っ…

お前が悪いんだぞ…秋山？  
先生も…もう我慢の限界だ…

それってどっいう意味…っ

ガッ

や…っ……！先生…っ  
顔が…怖いですよ…？

ド  
ガッ

さっ…っ



…んっ…先…生っ……？

高橋先生は私のアソコを  
じつくりと舐めるように眺めた後  
嫌がる私に強引に詰め寄ってきた…



そして先生は私の脚を押しさえつけ  
ズボンを下ろし、大人の大きなそれを  
私のアソコに擦りつけてきた…

……秋山……これは……  
学校の机を汚した罰だ……

お前が悪いんだぞ……？  
こんなに濡らして……

先生……だめ……です……

……ごんなう……じと……う……

やめて……ください……う……



私の初めては…!!  
大好きな拓也くんって決めてるの…!!  
だから……!!

いやっ……先……生……!!  
……それだけは……!!

先生はすでに歯止めが利かなくなっていた  
このままじゃ犯される…  
大好きな拓也くんに触られる前に…  
私は必死に抵抗したが…

ガリッ



いや...力強く...なって...!!

や、やめっ...先生...!!  
ほんと...に...だめだから...っ

ググ

ほーっ

ほーっ

やだ...拓也...くん...っ  
...助け...て...!!

い...いたっ...っ!

ミチミチ...





大人の方に勝てるはずもなかった...



ふう…なんだ秋山？  
お前初めてなのか

それなのにこんなに濡らして…  
本当に悪い子だな…

そ…そんな…いやっ…

私の体は…拓也くんの…  
拓也くんのための体なの…

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



あうっ…動かないで…っ！

ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ

ほう…拓也ってあの野球部の？  
あんなヒョロヒョロの奴が  
好きなのか？

秋山…お前やつぱり  
変わってるな…

んう…っ先生…には…っ

関係…ないです…っ！





関係ない…だと…？  
さっきから先生に  
口ごたえばかりして…！

あんなに俺を  
誘惑しておいて…！

ズ…ズ…ズ…ズ…ズ…ズ…

…激し…っ…！！

だ…め…っ！

先生をバカにしているのか？

反省のない生徒には  
お仕置きが必要だな…





やだやだ

だめ…!

中は…!

ズンズン

…っ…先…生…?!  
急に…激し…すぎ…っ…  
あっ…さっきから…先生の…  
脈…うって…る…?!  
…ま…さ…か…?!

ズンズン







先生…ひどいよお…  
…うう…赤ちゃん…  
…できちゃっよお…うう…

そん…な…うう…  
うう…拓也…くん…

ドブッ ドブッ



私に中出しをした後も  
先生の機嫌は収まることなく...  
私の体中を性処理道具にした

ふう...おい...秋山!  
先生は先に帰るから...


汚した教室...きれいに  
掃除しておけよ?



拓也くんのためにとっておいた  
私の体は汚されてしまった…

この日から高橋先生は何度も  
私を脅してくるようになった





放課後…誰も使っていない部室…  
写真のデータを消すことを条件に  
私は高橋先生に呼び出された  
外には部活をしている生徒の声が聞こえる…



秋山…お前…  
汗のおいがするな…

先…生…？

今…ここで…するんですか…？  
すぐ外に人が…いるんですよ…？

気にするな…  
この部屋は誰も使っていない…  
それに…

秋山も早く先生とセックスしたいんだろ？

じゃあ…なんでこんなにマンコからよだれ垂らしてるんだ？

「っっ…これは…っただの…汗…ですよ！」

私は拓也くんのが…好き…なので…！！

別に…したく…  
…ない…です…っ

モミモミ

ムワァ

ズル…



…まったく…素直になれ！  
これが欲しいんだろ…！

ズチュン

んんん!!

ガッ

んん

んん

この前まで処女だったくせに…  
こんなに汁飛び散らかしやがって…

…やっ…んっ…

…っ…あの…先生っ…  
本当に…っ…これで…っ  
…写真のデータ…んっ…  
消して…くれるんですよね…?

…んっ…ああ…

バチッ  
バチッ  
バチッ



そうだったな：  
先生は約束は守るぞ

1セックスに1枚分消してやるよ

……えっ？……

ほーっ

ほーっ





...んっ...拓也...くんっ  
やだっ...助けて...っ!!

...うそ...一枚分...!  
あと何回こんなことを...  
...続けなくちやいけないの...?

グキョッ  
グキョッ

グロッ

グロッ



…アツ…ちよっ…激しっ…  
…先…生っ…!!  
ダメッ…!!…あアツ…!!

バチッ  
バチッ

バチッ  
バチッ

バチッ

グキョッ  
グキョッ  
グキョッ  
グキョッ



おい...うるさいぞ!  
もう少し声を抑えろ!

外に聞こえるだろ!

おん...!!

が...

キュウ...

ひんひん



なにこれ…ダメっ……!!  
息がっ…できなっ…いっ…っ!

ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ

くっ…秋山…っ  
締め付けが強くて…  
もう…出そうだ…っ

ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ



ムッ  
ムッ

ムッ  
ムッ





……あつ……だ……め……息が……  
意識が……トんじやう……う……

ズ  
ン  
ズ  
ン

ズ  
ン  
ズ  
ン

ポ  
タ  
ッ  
ポ  
タ  
ッ

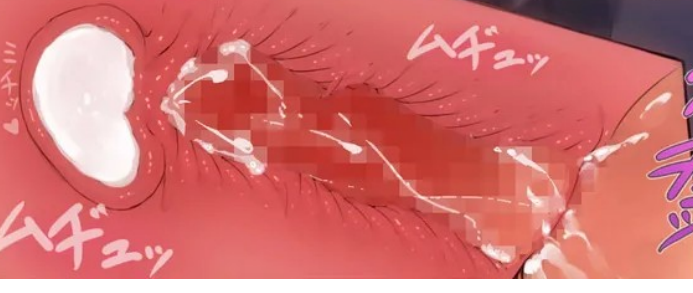
ズ  
ン  
ズ  
ン  
ズ  
ン

ズ  
ン  
ズ  
ン

ム  
チ  
ユ  
ツ

ム  
チ  
ユ  
ツ

ム  
チ  
ユ  
ツ





.....あの〜!  
誰かいるんですか〜?

ガッ  
ガッ

!?

!!

ガッ  
ガッ

フワッ

ビッ



……あれ？……おかしいな……  
確かに声が聞こえたんだけどな？

やだ……っ……こんなところ……っ  
誰かに見られちゃったら……

ん？……動物が部屋に  
入り込んだのかな……？

あれ……「」の声……っ？  
……っ……拓也……くん……っ？

ニヤッ  
ニヤッ  
キョウッ……



こんな状況…見られたら…  
絶…対…だめ…

…うそ…なん…で…?  
…拓也…くんが…??



いたら返事して下さい!!

…おいしい!…  
…誰かいますか?…

か  
か

は  
ド

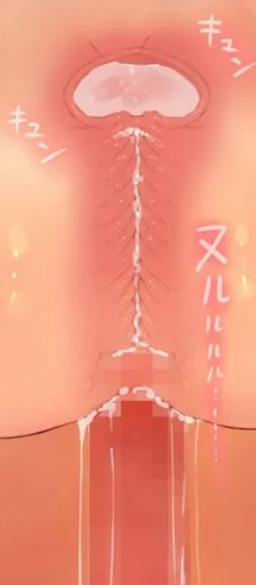
ミ  
キ  
ミ  
キ



…ん…返事もない…  
動物にしても…物音もしない…

やっぱり気のせいかな…

…先生の…動い…て…？  
こんな状況で…なに…？





…まあ…いいか…!!  
今日は部活で疲れたし…!

帰ってゲームでもするか…



お！  
拓也じゃん！何してんの！  
…一緒に帰ろうぜ！

お、田中！  
俺も今帰ろうと思ってた

カラオケでも行くか！

お！…いいじゃん！  
…行くか！

はあ、はあ





まったく…拓也のやつ…

焦らせやがって…中出して  
せつかく気持ちよくなつたのに…

…おい…秋山…?  
拓也の声聞いてマンコ締めやがって…

おい…聞いているのか秋山…?

ズッ!!

ピコッ  
ピコッ  
ピコッ

ピコッ  
ピコッ  
ピコッ

ピコッ  
ピコッ  
ピコッ

キッ

キッ

ズッ  
ズッ



おい秋山...聞こえないのか?  
...返事をしろ!

パンパン

ああ!!

パンパン



おおお

なんだト変態秋山？  
お尻叩かれてイったか？

マンコ…キムキムン  
吸い付いてくるぞ…

おおお

キムンッ  
キムンッ

バクンッ  
バクンッ

……こんなに吸い付いて…  
一回出したのに…まだ先生の  
精子が欲しいのか…？

仕方ない生徒だな…っ

おお





ふ〜…今日のマンコは  
いい締め付けだったぞ…

おおっ  
おおっ

おおっ  
おおっ

じゃ、先生は帰るから…  
いつも通り掃除は任せただぞ






うう...たく...や...くん...う

...う...ん...ん...ん...ん...ん...





温水プールの授業中…  
私は授業を抜けて  
男子更衣室に来るように  
高橋先生に呼び出された

写真のデータを消してもらったために  
何度も行為を重ねる…  
その度に要求はエスカレートして…  
ついに先生は授業中にまで  
私を犯すようになっていた…



ん…っ…先生…っ…  
授業中に呼び出さないで…っ…!

しかも…っ…「ん」…  
男子ロッカー…ですよっ…!

ん…?

別にいいじゃないか…  
生徒は授業だから誰も来ない

そういう…っ…!!  
…問題じゃないと思います!

アッ  
アッ

アッ  
アッ



細かいことを気にするな...

それに...  
秋山も慣れてきたらどろ?

...そんなわけっ...!!

...ないです...っ!

...なあ...秋山...

拓也なんかやめて...  
俺の女にならないか...?

...へっ...

又ゴッ

又ゴッ

又ゴッ



良い考えたと思わないか?  
…先生と付き合えよ…!  
毎日愛してやるぞ??

…ひゅ…  
…じゅ…

グッ  
グッ

ヒヨロヒヨロの拓也なんか忘れる  
恋人同士の濃厚キス…  
先生が教えてやるぞ…?  
ほら…一っつち向けよ…

グッ



ファーストキスは……  
拓也くんにとって……決めてますので！

……っ……嫌……です……っ！  
私はっ……拓也くんが好きなので！



ほらっっ…秋山っっ!  
ここが気持ちいんだろ…?

…ちっ…まあいい…  
…じゃあ…その分…たっぷりと  
下の口で楽しませてもらうか…  
…やっ…っ…

アッ  
グッ

アッ  
グッ

アッ  
グッ



ちよ...っ...先...生っ  
奥...っ...激しく...突くのっ...  
...や...めて...っ...ください...!!

そこは...っ...敏感なので...っ

ん...ど...う...し...た...っ...  
さ...ま...ま...で...の...威...勢...は...ど...う...い...っ...た...?

そ...それ...は...っ...あ...っ...っ...

ズッポ  
ズッポ  
ズッポ

ズッポ

ズッポ  
ズッポ

ズッポ



…秋山さあ…お前…  
何が…ファーストキスは  
…拓也くんと…だよ…？

何度も…何度も…俺と  
中出しセックスして…  
体のけぞらして悦んでるくせによ！

んんんんん

んんんんん

ズッ  
ズッ  
ズッ  
ズッ

ズッ  
ズッ  
ズッ  
ズッ





次は国語の授業か

プールの女子エロかったな

めんどくさいプールの授業  
早めに終わってラッキー

!?

えっ………?!  
男子が帰ってきてる……?  
このままじゃ……見つかっちゃう……?!

ガ  
タッ

バ  
タ  
ンッ

はあ……っ

はあ……っ

どうすれば……っ  
……っ……っ……  
……あっ……！



……何とか……っ  
ロッカーに隠れたけど……っ

…危なかった…あと少しで  
見つかるところだった…



ドキ

…先生…やめてください…っ

…すぐそこに…  
男子たちがいるんですよ…??

もし見つかったら…っ  
どうするんですか…っ!!



……っ……っ……っ!!  
なんで水着のバックファスナー……  
……あけてっ……るの……っ?

…先生…なにやってるんですか…?  
ほんとに…っ…ダメですってば…っ…

ちよ…っ…ちよ…っ…ちよ…っ…  
…





ち…ちがいますよね……？  
…さ…すがに…我慢して下さい…！

…先生…聞いてます…っ…？

…まさ…か…先生？  
この状況で…する気ですか…？

又チッ





……声が…漏れてっ…しまいます…!!  
おっ…お願い…します…っ!!

抜いて…ください…!!

ん…っ…先生…っ…!!  
…動いちゃ…っ…ダメです…っ







拓也くんと……するはずだったのに……

やだ……ファースト……キス……

キュ、キュ、





……助け……っ

……拓也……くん……っ……



ふふ…プールの授業後は  
さっぱりするな〜!

拓也もそう思うだろ?

ん…おう…

拓也どうした?  
最近…元気ないな?

……あ!……わかった……!  
秋山ちゃんのが心配なんだろ?

お…よくわかったな



最近の秋山ちゃん…  
よく保健室行ったり…  
いなくなったりしてるし…

やっぱり幼馴染の拓也は  
心配だもんな…

まあな…

…前から思ってたんだけど…  
…拓也…お前さあ…

秋山ちゃんのこと好きだろ？

…はあ!?



もうキスとかしたのか？

してるわけないだろ！  
付き合ってもないのに！

え？…お前ら…まだ  
付き合っていないの？

お前ら両想いだろ…？  
傍から見ても分かりやす過ぎて…  
クラスのみんな付き合ってるって  
思ってるぜ…？

なんだそれ…

あいつはそんなじゃねーよ！



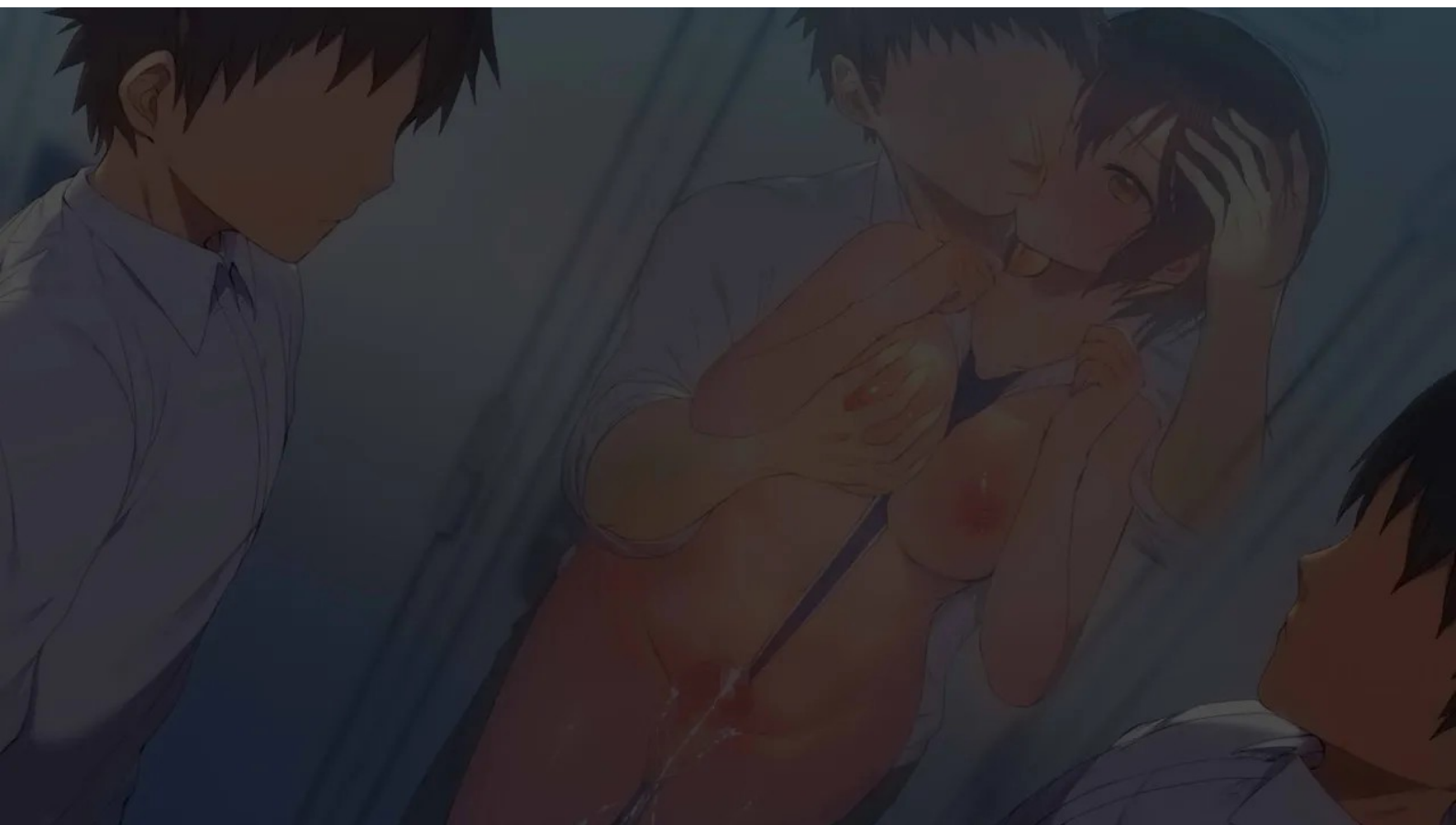
秋山は昔から気が弱いから  
幼馴染の俺が守ってるだけだ！

上手く言えないけど…  
なんか…ほっとけねーしっ


これからはずっと  
俺が守ってやんねーとな…って  
思ってるだけだし…

拓也…それ好きって  
言ってるようなもんだぞ

…あれっ…そうなの？



先生に気を取られて…  
気が付かなかつたけど…  
拓也くんの声がした…ような…？



男子達がいなくなつてから…  
先生はロッカーから出てすぐに  
いつもより乱暴に激しく  
私を犯し始めた…

長時間せまい窮屈なところで  
うまく動けなかったからか  
先生はイライラしていた



ふっ…危なかった…ちっ…  
まさか授業が早めに終わるなんてな…

クソっ…あの男子ども…覚えてろよ…  
次の俺の授業でしこいてやる…!

…い…たっ…い…!

バクッ

バクッ

バクッ

…んっ…やっ…

おい…秋山…!  
締りが悪いぞ…?

もっ…た…っ…か…ら…い…ま…ん…ム…締…め…ろ…!  
…ま…も…っ…す…っ…

…先生…っ



…んっ…先…生…!!  
…もっ…やめ…っ…

やめっ…くたせろっ…っ

バグッ

学校で…こんなことっ…っ  
いつか…見つかってしまいますっ…

だから…っ…



お願い…っ…します…っ

…やめ…て…っ

…ロッカーの中にいるとき  
拓也くんの話し声が聞こえた…  
話の内容は聞こえなかったが…  
その声に勇気つけられた私は  
必死に先生に抵抗した…が…



おら！もっとマンコ締めろ！  
…先生の言う事を聞け！

…分からないなら…  
…教えてやる！

あ…？…なんだ…？  
マンコの音で何も聞こえんぞ？  
言いたい事があるなら  
もっとハキハキ話せ！

あっ

ガッ

ブツッ

ブツッ

ブツッ



…私はこの瞬間に悟った…  
先生に逆らう事は無理なのだ…  
解放されるまで我慢するしかないのだ…

もし今の姿を拓也くんに見られたら…  
そう思うと胸がどうしようもなく  
キュツと締め付けられた…



おっ...! 秋山っ...!  
良い... 締めだぞ...  
やればできるじゃないか...!

ほらっ!... イけよ...!  
俺の... 肉便器...!

俺のチンポで拓也のこと...  
忘れさせてやるよ...!

ズン  
ズン



っ…おらっ…秋山!  
俺のチンポでイけ…っ!


あぁあぁ

あぁあぁ

ずっとほり啜えこんで…っ  
俺のチンポ好きなんだろ!

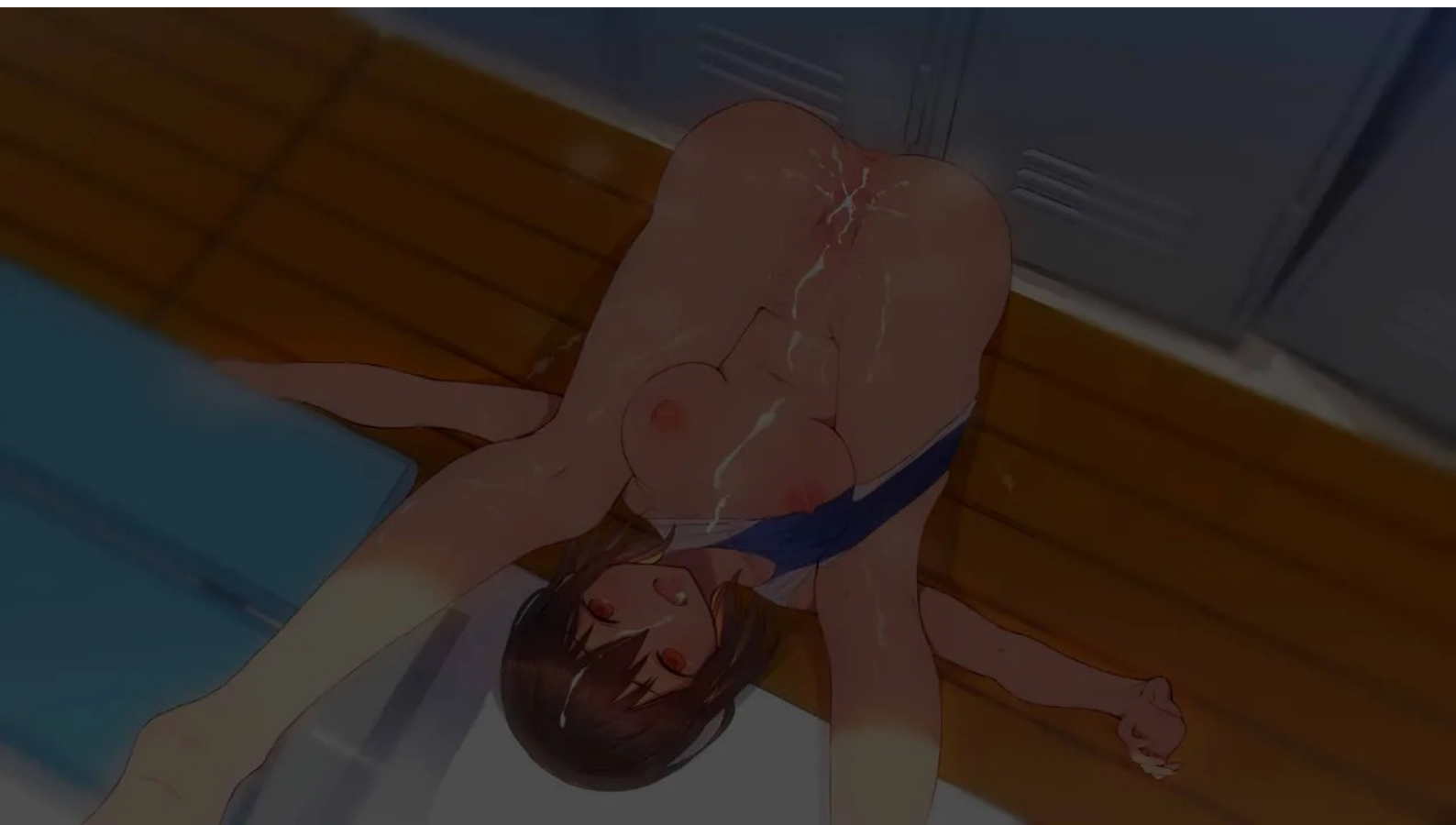
ほら…ほらっ…出すぞ…  
しっかり…っ…啜えとけっ!!






先生は私をモノみたいに扱って  
満足するまで体中を犯しつくした…  
先生の体液が体中にまわりついている…

全身に体の悦びを仕込まれた私は  
快楽で体の震えが収まらず  
しばらく立つことが出来なかった…





先生の要求は止まらず…  
行為は日をまたぐことに  
過激になっていた…

先生の精子が溜まれば  
すぐにセックスさせられる…  
ついには男子トイレに連れ込まれ…  
私は先生の肉便器となっていた…



さすがに…周りに…っ  
怪しまれてますよ……っ！

今日…「」でっ…何回…っ  
エッチしていると…思ってるんですか

っ  
っ  
っ  
っ  
っ  
っ

はっ

はっ

先生…っ…んっ…  
いい加減に…っ  
…して…っ…くださいっ！



あゝ...?何回目って...  
まだ4回目だろ...??

先生はみんな授業していると  
性欲が溜まるんだよ...

それに...秋山も...そろそろ  
セックスに慣れてきただろ...?

...っ...そんなわけ...っ...  
...ないじゃないですかっ!

不...不...不...不...



そんなわけないだろ...?  
...なるほど...じゃあ...

「この...ねっとりした動きのマンコと...  
絡みつくようなキスはなんだろうな...?」

.....「これ...はっ.....」

これは...なんだ...?  
言ってみろよ秋山...



これは先生が私に無理やり…っ！

ほう…？

俺の腰が動いてないことに  
気が付いてないのか…秋山？

ズ  
ッ  
ズ  
ッ  
ズ  
ッ

…え…っ…

お前が腰振ってチンポに  
しゃぶりついてんだぞ…！

…っ…これは体が勝手にっ…



無意識にいやらしく  
キスしながら腰ふって…

そんなに俺のチンポが…  
気持ちいいか？…秋山？

……っ……!!

はっ

はっ

あ

はっ

グッポ

グッポ

グッポ

お前の大好きな拓也が見たら…  
どう思うだろうな…？

先生…ひどい…う

チュ♡

レロッ  
レロッ



…ひどいだと？……  
じゃあ…やめるか？

……入っ…っ

秋山……ほら…っ…

……へあ……え？

不  
有  
不  
有



ん？...どうしたんだその顔は？

.....!!

お前いつも言ってるじゃないか...先生やめてっ...て！

舌伸ばして...  
欲しがってよお？

...やめてほしくないんだろ？  
ほら！どうなんだ秋山！

.....

ん？聞こえないぞ？

...っ...えっ...ち...してくださいっ...!!

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ



ズチュッ

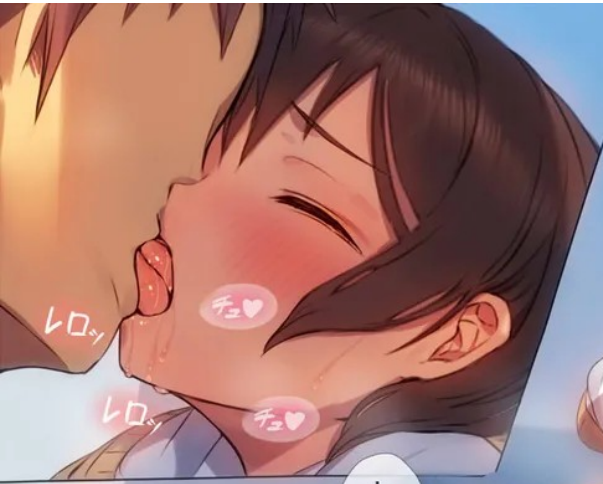
あっ…奥にあたって…るっ…  
…激しい…っ…んっ…!!

ズチュッ

ズチュッ

…やっぱり秋山は変態だな…?

……っ……



レロッ チュ♡  
レロッ チュ♡



次の授業めんどくさいよな〜拓也？  
あれ…拓也どうかしたのか…？

!!

ががが

は〜…テスト赤点だったわ…  
拓也はどうだった？

まあまあ…かな…



びっくりした…なんだ…  
ドアにもたれているだけか…  
さっきの声…もしかして…  
拓也くんがすぐそこに…？



ドアを挟んですぐそこに大好きな人がいる……  
でも私……拓也さんのすぐ隣で……  
先生と……中出しセックスしてる……  
どうしようもなく激しく交わってる……？

……っ……こんなこと絶対ダメなのに……っ  
私が好きなのは……っ……拓也くんなのに……っ



……なのに……っ……なんでこんなに……  
気持ちいい……の……っ……っ……？



拓也…どうしたんだ？  
そんなにソワソワして…？

聞いてくれよ田中…  
ちょっと相談にのってくれないか…？



…なんだよ相談って？  
お前らしくないぞ拓也

最近のお前…変だぞ？  
…なんだ悩み事か？

そうなんだよ…

最近さ…秋山が…  
よくないくなるだろう？



そうだな…秋山ちゃん…  
前より増して見かけないな

拓也…やっぱり心配なのか？  
相談って秋山ちゃんのこと…？

……………ああ

田中…俺さ……

気が付いちまったんだよ…っ

……気が付いたって…？  
……何に……？

キュン

キュン



秋山のこと…好きだってこと…っ

俺……っ



なんだそんなことかよ〜！  
拓也〜驚かせんなよ！

そんなの今更なことだろ？  
悩む必要ないって！

いや〜…なんかさ…  
秋山を最近見なくなってるから…

ずっと秋山のこと…  
考えてる自分がいて…

幼馴染としてじゃなく…  
秋山のことを守りたいって思うんだ…



秋山ちゃんに…  
好きって…伝えたのか？

おゝ拓也…！  
で…その気持ちに気が付いて…  
…どうするんだ…？



だから俺っ…決めたんだ…!

まだ…言えてない…  
でも…っ…早くこの気持ちを  
伝えないと秋山がもっと遠くに  
行ってしまふような気がしてさ…



…明日…秋山に告白する…!!

ズキッ

ビュルルル…



お、おっ……!  
俺…頑張ってみる…っ!

おっ！拓也！  
頑張れよ！  
お前なら絶対大丈夫だ！


コボオ



…え…拓也くん…が…?  
私…のことが好き…??  
明日…告白される…??







放課後：私は拓也くん  
教室に呼び出された…  
告白されることが分かっていた私は  
期待を胸に膨らませて待っていた…

…が…それを知っていた先生は  
拓也くんが来るよりも先に  
教室に入ってきて…  
私を無理やり犯し始めた



先生……っ……  
やめてください……っ……!!  
拓也くんが……っ……きちゃっう!!

このままじゃ……拓也くん……  
先生とのセックスを見られてしまう……  
そんなの嫌……なの……っ……!!



知ってるぞ…拓也が  
告白しに来るんだろ？

ちよつどいいから拓也に  
教えてやるんだよ

教えるって…何を…？

いいから…  
はなして…くださいっ！

あ

あ

あ



おっ！秋山いるか？  
ちよつと話があるんだけどさ…

お…来たみたいだな…

うそっ…やだっ…やだ…

よし…教室入るぞ…!!

んっ

んっ

あ



...あっ...

...ん？...





え……？…秋山と…高橋先生…？

なんで……えっ……うそだろ？

ボク

ボク

グッ…

ん

ん

ん



お、拓也...どうした？  
みっともなく腰抜かして？

先生は秋山を孕ますのに  
忙しいんだよ...！

ボク

ボク

ボク

こいつは俺の大事な  
肉便器だからな！

わかったら...  
そこで黙ってみてろ！

あ

あ

あ

あ



おら！おら……！

先生のチンポ欲しがって  
何回もいらしく交尾した  
トトロで敏感のマン

ボチュ  
ボチュ  
ボチュ  
ボチュ  
ボチュ

拓也に見せつけてやれよ  
……秋山あ……

え……？

お  
お  
お  
お



この時...ずっと心の支えにしてきた  
拓也くん自身の最悪な姿を  
すべて見られてしまったことと...

う...嘘だよな...秋山？

違うだろ...？...無理やり...  
...やらされてるんだよな？

ボチユ

ボチユ

ボチユ


ズルル  
ズルル



全身を突き抜けるような快感によって  
私の心はグチャグチャ  
になってしまっていた...







先生は拓也くんに見せつけるように獣のような激しいセックスを何度も繰り返した…

大好きな拓也くんの前で私は何度も中出しされ心も体もグチャグチャで…理性もなく目の前の快楽におぼれていた

そんなあ…秋山が…先生と…

ズキッ

ズキッ

激しくねっとりとした空間で  
拓也くんは勃起したまま  
放心状態になって…  
私と先生のセックスを  
ただ見つめていた





くそ...っ...ヒダが絡みついて...っ  
そんなに欲しいなら...っ

拓也の前で孕ませてやるよ!

...っ...先生...っ...!

バグッ

バグッ

バグッ

バグッ



先生……気持ちいい……

先生の……オチンポ……  
気持ち……っ……いい……っ

もっと……っ……オチンポ  
オチンポ……っ……ください……っ

もっと奥に……っ……

バグッ

バグッ

バグッ

バグッ

あ

あ

キュン

キュン

キュン

あ

あ

あ

あ

あ

もっと…奥までっ…突いてっ…

グチャグチャになった頭のせいか…  
今まで否定してきた先生を  
体だけではなく…

グッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

…っ先生の…ドロドロっ…のっ  
濃い精子っ…子宮にください…っ!!

心までもが求めてしまった瞬間…  
私の中の大切なものがプツリと  
切れたような気がした



あつ...ずっぱり奥まで...  
先生のオチンポ...入ってるうっ

子宮とオチンポがキスしてるっ!  
本気で孕ませようとしてる...っ!

ズン

ズン

ズン

ズン



ピストン早すぎてえ...っ!  
オマンコぶれちゃうよお...!!

気持ちよすぎてえ...っ!  
エッチな...っお汁がっ...  
とまらないよおおお...っ!

もっと...突いてええ...っ!  
突いて突いてオマンコ...っ  
...っトロトロオマンコお...

ズンズンズンズン

ズンズンズンズン

ズンズンズンズン

ズンズンズンズン

ズンズンズンズン

ズンズンズンズン

ズンズンズンズン

ズンズンズンズン

ズンズンズンズン



オマンコのおにくが...  
全部う...先生のオチンポに  
吸い付きしやぶつてるよお!

ほらあ...キスもお...!!  
グチャグチャにしてよお...!!

先生え...きもちふいいよお...!!  
もっと...!オマンコしてえ...っ!!

バクッバクッ

バクッ

バクッバクッ

バクッ



…先…生え…っ？オチンポお  
ドクドク言ってるよお…？

何回もオマンコしてるからあ  
先生のお…種付けおぼえちやったあ！

あ…射精…来る…！来る！  
オマンコに射精…っして！

孕ませて！先生え！  
本気セックスで孕ませてえ！

バグッ  
バグッ

バグッ  
バグッ

バグッ  
バグッ

バグッ  
バグッ





はあ...はあ...好き...

私...先生が...好きい...っ

はあ...

はあ...

はあ...

んん...











完